

# 名古屋大学データサイエンス研究科データサイエンス専攻 カリキュラムマップ

人材養成の目標			データサイエンスの基盤となる統計学、情報工学の基礎的素養を有し、データ活用の実践経験がある、あるいは実践力修得を目指す入学者に対して、統計学・情報工学分野の先進的な理論と技術およびデータ活用の先進的手法をコースワークとして教育する。 その上で、社会的課題に関わるデータの収集・分析およびそれによる課題解決の提案までを一貫して行う演習を通じて、課題の発見と解決策の立案あるいは関連する社会課題解決のための学術研究や技術開発に取組み、データサイエンスを活用する実践的な能力を養成することを教育研究上の目的とする。						
養成する人材像			①高度な統計学、情報工学等の知識を基盤に、それに基づくデータ分析とその活用力、実務における課題発見とその解決策を立案する力を備えた人。 ②データを通じた社会的課題へのアプローチを主体的に担える人。						
科目区分		科目名	配当年次	修了要件	DP1	DP2	DP3	DP4	ディプロマポリシー
共通科目		研究リテラシー	1前	4単位(研究リテラシー2単位を含む選択必修)	◎	○	○	◎	<b>DP1:</b> 社会課題解決のためのデータ収集・管理を行い、理論に基づく分析結果を踏まえた客観的な考察を主体的に発信できる能力を修得している。 <b>DP2:</b> データサイエンスの基盤となる統計学やベイズ統計など数理統計学分野と機械学習、データ工学などの情報工学の先進的な理論と手法およびデータ活用の手法によりデータの分析・考察を行える能力を修得している。 <b>DP3:</b> 産業、医療、行政分野等のデータ収集・管理と客観的分析を行うことで、それぞれの分野の課題発見とその解決策を立案し提案できる能力を修得している。 <b>DP4:</b> データサイエンスに関わる研究力を修得している。
		実験計画・データ調査特論	1前		◎	◎	○	○	
		実務家特別講義	2前		◎	○	◎	○	
専門科目	数理統計	統計解析特論	1前	数理統計、情報工学、データ活用から各4単位、この他に、専門科目・共通科目から2単位、計14単位(選択必修)	○	◎	◎	○	
		情報数学特論	1後		○	◎	◎	○	
		ベイズ統計特論	1後		○	◎	◎	○	
		時系列解析特論	1前		○	◎	◎	○	
	情報工学	機械学習特論	1前		○	◎	◎	○	
		テキストマイニング特論	1後		○	◎	◎	○	
		データ工学特論	1前		○	◎	◎	○	
	データ活用	宇宙地球環境情報学特論	1前		○	◎	◎	○	
		農業情報気象学特論	1後		○	◎	◎	○	
		人間工学特論	1前		○	◎	◎	○	
		財務情報特論	1前		○	◎	◎	○	
公共政策特論		1後	○	◎	◎	○			
生体医療情報工学特論		1後	○	◎	◎	○			
医療データ分析特論		1前	○	◎	◎	○			
レギュラトリーサイエンス特論		1後	○	◎	◎	○			
演習科目		プロジェクト課題演習	1後	4単位(選択必修)	◎	○	◎	○	
		課題演習	1後		◎	○	◎	○	
特別研究		修士特別研究Ⅰ	1前	8単位(必修)	○	○	◎	◎	
		修士特別研究Ⅱ	1後		○	○	◎	◎	
		修士特別研究Ⅲ	2前		○	○	◎	◎	
		修士特別研究Ⅳ	2後		○	○	◎	◎	